

2018年3月期

Nishi-Nippon Financial Holdings

地域密着型金融の取組実績

 西日本フィナンシャルホールディングス

 西日本シティ銀行  長崎銀行

～ 中小企業の経営改善及び地域活性化のための取組み ～

CONTENTS

ベストミックスのチャネルの実現	2
店舗チャネルの拡充	2
デジタルチャネルの充実	3
フィンテックへの取組み	3
企業まるごとサポートの進化	4
ライフステージに応じたソリューションの提供	4
事業性評価への取組み	10
「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	11
人生まるごとサポートの進化	12
ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み	14
Environment	14
Social	14
Governance	18

ベストミックスのチャネルの実現

西日本FHは、ベストミックスのチャネルの実効性を一層高めるために、高度なコンサルティングの提供と先進的なデジタルチャネルの構築に取り組みます。

店舗チャネルの拡充

■「西日本FH北九州ビル」オープン

西日本FHは、北九州におけるグループ戦略拠点として、2017年11月6日、「西日本FH北九州ビル」をオープンしました。

当ビルは、西日本シティ銀行の北九州営業部、北九州総本部に加え、「証券」「保険」「リース」といった業務を取り扱うグループ会社等も入居するなど、グループが有する総合金融力を存分に発揮する「まるごとサポート店舗」です。

そのほか「NCB創業応援サロン」や「企業情報コーナー」「NCB街かどギャラリー」を併設しています。



2017年11月6日オープン!

西日本FH北九州ビル

住所：北九州市小倉北区鍛冶町1-5-1
TEL：093-521-6802
窓口：平日9:00～15:00
ATM：平日7:00～23:00
土日祝8:00～21:00
貸金庫：460マス(平日9:00～17:00)

まるごとサポート店舗

- 証券 西日本シティTT証券(株)
- 保険 西日本ユウコー商事(株)
- リース (株)九州リースサービス



※1F～3Fは主に西日本シティ銀行のフロアです。



■店舗のリニューアルオープン

西日本シティ銀行は、高度化・多様化するお客さまの金融ニーズにワンストップでお応えるため、2017年5月以降、「資産運用」「ローン」「保険」の相談機能を備えた「まるごとサポート店舗」など、7か店(西日本FH北九州ビル含む)をリニューアルオープンしました。

三萩野支店

住所：北九州市小倉北区黄金1-2-5
TEL：093-921-8381



2017年5月15日オープン!

証券 西日本シティTT証券(株)

白木原支店

住所：大野城市白木原1-5-15
TEL：092-501-2241



2017年6月19日オープン!

荒江支店

住所：福岡市早良区荒江2-11-3
TEL：092-821-7631



2017年11月20日オープン!

春日支店

住所：春日市昇町7-70-1
TEL：092-573-3381



2017年7月18日オープン!

ローン ローン営業室
保険 ほけんプラザ
証券 西日本シティTT証券(株)

室町支店

住所：北九州市小倉北区室町2-5-3
TEL：093-592-2525



2017年8月21日オープン!

ローン ローン営業室
保険 ほけんプラザ
証券 西日本シティTT証券(株)

千早支店

住所：福岡市東区千早4-14-32
TEL：092-661-1251



2017年10月10日オープン!

ローン ローン営業室
保険 ほけんプラザ
証券 西日本シティTT証券(株)

まるごとサポート店舗とは？

サポート店舗とは？

西日本シティ銀行の強みである専門チャネル「ローン営業室」及び「NCBほけんプラザ」、「西日本シティTT証券」等を一店舗内に集約し、多様化・高度化するお客さまの金融ニーズに、スピーディかつ的確にお応えする、ワンストップ型を志向する店舗です。

西日本シティTT証券

チャネル拡大! さらに便利になりました!

福岡県内を中心に、熊本・宮崎・鹿児島に計12店舗を展開する西日本シティTT証券は、西日本シティ銀行の支店内に設置するサテライトブース7拠点を含め、合計19拠点までチャネルを拡大しました。

(2018年3月末現在)

■ローソンとの共同店舗をオープン

西日本シティ銀行は、2017年4月、株式会社ローソンとの共同店舗「博多駅前出張所(無人店舗)」をオープンしました。当店舗は、「はかた駅前通り」に位置し、国内外のお客さまに向けた情報発信拠点として、海外発行カード対応ATMやデジタルサイネージを設置し、福岡・九州の魅力PRしています。



デジタルサイネージ 博多駅前出張所(無人店舗)

デジタルチャネルの充実

■ ホームページの全面リニューアル

西日本シティ銀行は2017年4月に、西日本シティTT証券は2018年3月に、長崎銀行は2018年4月にそれぞれホームページを全面リニューアルしました。

“見やすさ”“使いやすさ”を重視したほか、画面のデザインやレイアウトの統一を図りました。



■ ソーシャルメディア公式アカウントの開設

西日本シティ銀行は、2017年4月、TwitterとFacebookの公式アカウントを開設しました。お客さまとの新たな接点としてソーシャルメディア公式アカウントを通じ、お客さまのお役に立つ情報を発信しています。



フィンテックへの取組み

■ 「スマホ決済サービス」の実証実験

西日本シティ銀行は、2018年2月26日から3月18日までの期間、NTTデータ及び福岡地所とともに、一般消費者を対象とした「銀行口座を利用したスマホ決済サービス」の実証実験を福岡市内の商業施設「キャナルシティ博多」で行いました。



スマホ決済サービス

■ 「free for 西日本シティ銀行」の提供開始

西日本シティ銀行は、クラウド会計を手がけるfreeeと提携し、西日本シティ銀行のお客さま向けに、クラウド会計ソフト「freee for 西日本シティ銀行」の提供を2018年3月5日より開始しました。

本サービスを利用することで、例えば、入出金明細の自動取込が可能となり、帳簿等を簡単に作成することができます。

詳細は西日本シティ銀行のホームページでご確認ください。(2018年6月末現在)



■ 「西日本シティ銀行アプリ (NCBアプリ)」による税公金支払サービスの拡大

「西日本シティ銀行アプリ (NCBアプリ)」による宇美町・志免町・須恵町・新宮町の税公金のお支払いサービスを、2018年4月1日より開始しました。

本サービスは、お客さまが西日本シティ銀行アプリを利用することにより、“いつでも、どこでも、簡単・便利に” 税公金のお支払いが可能になり、宇美町・志免町・須恵町・新宮町では地域住民サービスの向上が期待されます。

詳細は西日本シティ銀行のホームページでご確認ください。(2018年6月末現在)



■ 顔認証技術を用いた本人確認に係る実証実験

西日本シティ銀行は、2018年4月から6月までの期間、店舗内に設置した実証実験端末で、お客さま自身の操作により、「運転免許証」または「マイナンバーカード」から読み取った顔写真データと端末に内蔵されたカメラで撮影した顔写真データを照合して、本人確認を行う実証実験を行いました。

今後は、本実証実験の実施で得たノウハウや知見を活かし、非対面による口座開設、ICキャッシュカードの発行・再発行、住所変更などの利便性向上に資するサービスの提供を目指してまいります。



実証実験端末

■ 電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針

西日本シティ銀行及び長崎銀行は、お客さまのライフスタイルやその時々ニーズに応じた最適なチャネル（ベストミックスのチャネル）の構築に取り組んでいます。

その取組みの中で、西日本シティ銀行及び長崎銀行は、お客さまの利便性の向上を図るべく、外部アライアンス先と積極的に協働しながら、幅広い領域でオープンイノベーションを推進してまいります。

その一環として、お客さまに安心してお取引いただける環境づくりと、お客さまのさらなる利便性向上に向けて、オープンAPIを通じて電子決済等代行業者との連携及び協働を行うため、基本方針を制定しました。

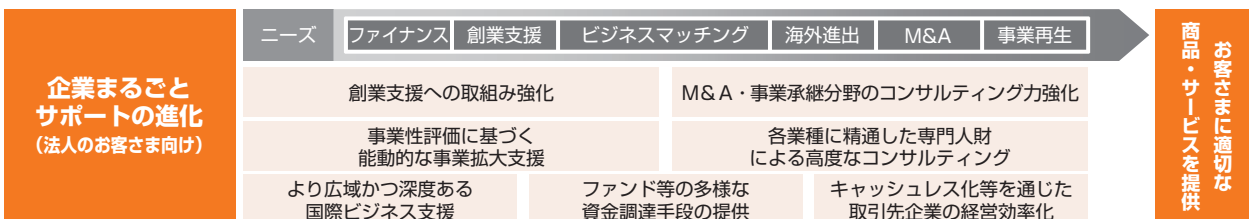
詳しくは、西日本シティ銀行及び長崎銀行のホームページでご確認ください。

オープンAPIに係るお問い合わせ		
西日本フィナンシャルホールディングス 西日本シティ銀行 営業企画部 TEL：092-461-2764	メールアドレス	open-api@ncbank.co.jp
長崎銀行 総合企画部 TEL：095-829-4109	メールアドレス	kikaku@nagasakibank.co.jp

企業まるごとサポートの進化

中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしぼろう～」においても、「地域の発展なくして西日本フィナンシャルホールディングスグループの発展なし」との信念の下、「企業まるごとサポート」をコンセプトに、創業期、成長期などのライフステージに応じたサポートや成長ビジネス分野のサポートに努めています。

今後も、資金供給者としての役割にとどまらず、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対して、グループ丸となった「企業まるごとサポート」を展開することにより、お客さまに選ばれる「総合金融グループ」を目指します。



◎金融仲介機能の発揮に向けた取組み

西日本FHグループは、長い歴史の中で、お客さまのライフステージにあわせて、融資のみならず多面的な支援を行い、地元産業の育成・企業振興に取り組んでいます。

ライフステージに応じたソリューションの提供

【ライフステージ（注）別の与信先数及び融資残高（2018年3月期）】

西日本シティ銀行						
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数（先）	41,033	3,758	2,476	16,824	1,249	1,619
融資残高（億円）	50,216	3,590	5,623	29,932	1,654	1,070

長崎銀行						
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数（先）	2,764	155	133	1,194	83	270
融資残高（億円）	756	50	55	510	20	61

【地域別の与信先数（2018年3月期）】

西日本シティ銀行

	全与信先	福岡県	九州 (福岡県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数（先）	41,033	34,705	4,730	488	1,110

長崎銀行

	全与信先	長崎県	その他
与信先数（先）	2,764	2,435	329

創業期のお客さまの支援

創業、新規事業開拓を目指すお客さまに、融資や企業育成ファンドへの出資等を通じて事業立ち上げ時の資金需要やコンサルティングニーズに対応しているほか、補助金や制度融資の紹介など情報面での支援や、外部機関との連携による新たな技術の製品化・商品化の支援などを行っています。

また、金融機関に求められる起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援を実現し地域産業の育成を図る観点から、西日本FHグループでは、外部機関やグループ各社との提携、連携を通じて創業支援への取組みを強化しています。これからも、西日本FHグループの「良きDNA」を継承・発展させ、グループ一丸となって地元産業の発展に資するさまざまな支援に取り組めます。

【関与した創業・第二創業（注）の件数（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業（件）	2,810	28
第二創業（件）	78	0

〔注〕 第二創業の定義

- ・ 既に事業を営んでいる企業の後継者等による新規事業の開始
- ・ 既存の事業を譲渡（承継）した経営者等による新規事業の開始
- ・ 抜本的な事業再生による業種を変更し再建

【創業支援先数（支援内容別）（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行
創業計画の策定支援（先）	727
創業期〔創業5年以内〕の取引先への融資（プロパー）（先）	811
創業期への取引先への融資（信用保証付）（先）	1,122
政府系金融機関や創業支援機関の紹介（先）	289
ベンチャー企業への助成金・融資・投資（先）	12

■ NCB創業応援サロンの設置

西日本シティ銀行は、創業を目指すお客さまを対象に創業時の課題の相談に応じるほか、創業して間もない起業家の方に、起業家同士で交流を図る「場」として、「NCB創業応援サロン」を2016年2月に福岡地区、2017年11月に北九州地区に開設しました。

本サロンには、創業支援に関する専門スタッフである創業カウンセラーを配置し、創業前の事業計画策定から、創業時の資金調達、創業後の経営相談に至るまできめ細かに対応しています。



サロン来訪者累計 **3,401名** (2018年4月末)
創業カウンセラー **29名** (2018年5月10日現在)

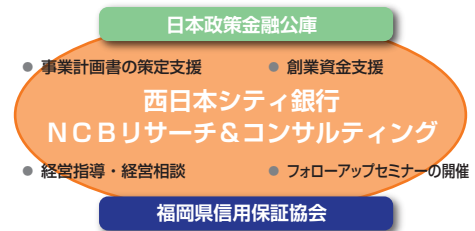
■ FUKUOKA growth nextでの事業展開

西日本FH及び西日本シティ銀行は、福岡市の官民協働型スタートアップ支援施設「FUKUOKA growth next」にて2017年4月より事業を展開しています。

「FUKUOKA growth next」では、西日本FH（オープン・イノベーション推進室）との協業による各種イベントやコンテスト、実証実験、Fintechの動向などに関する情報発信、相談会の開催などを行っています。

■ 外部機関との連携によるワンストップのサポート態勢

西日本シティ銀行は、創業分野でノウハウを有する日本政策金融公庫と中小企業融資に豊富な経験を持つ福岡県信用保証協会、NCBリサーチ&コンサルティングと連携し、創業前の準備段階から、創業時の資金調達、創業後の事業安定までの質の高いサポートをワンストップで提供しています。



■ 「NCB創業支援カーリース」の取扱開始

西日本シティ銀行は、2017年11月より、創業を目指す事業者を応援するため、株式会社九州リースサービス及びオリックス自動車株式会社と提携して取り扱うファイナンス・リース商品「NCB創業支援カーリース」の媒介業務を開始しました。

創業時の自動車の導入において、リースを利用することで、当初の資金負担の抑制ができます。

成長期・安定期のお客さまの支援

事業のさらなる成長を目指すお客さまに対しては、地方公共団体や他の金融機関等との共催による国内商談会の開催や、上海・香港など国外での商談会の開催等によるビジネスマッチング、海外金融機関や外部専門家等との連携による海外進出支援、コンサルティングに基づく課題解決提案等により、販路拡大や新たな事業展開等へのサポートを行っています。

■ 高度なコンサルティングとソリューションの提供

西日本シティ銀行（法人ソリューション部）の医療・農業等の各分野に精通した専門人財によるコンサルティングサービスの提供、NCBリサーチ&コンサルティングの各種ビジネスセミナーの開催等により、お客さまの経営課題に最適なソリューションを提供しています。

【ソリューション提案先数（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①（先）	41,033	2,764
ソリューション提案先〔注1〕②（先）	5,768	74
割合（②/①）	14.1%	2.7%

〔注1〕ソリューション提案先：2018年3月期中に、お客さまの本業支援等の提案を行った先

【ソリューション提案先の融資残高（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①（億円）	50,216	756
ソリューション提案先②（億円）	9,397	20
割合（②/①）	18.7%	2.6%

【販路拡大支援先数〔注2〕（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行
地元〔注3〕（先）	817
地元外〔注4〕（先）	117
海外（先）	138

〔注2〕販路拡大支援先：ビジネスマッチング（契約に基づくもの）の成約、商談会やビジネスマッチングフェアでの成約、個別の紹介（契約に基づかないもの）の成約

〔注3〕地元：福岡県を含む九州

〔注4〕地元外：地元及び海外を除く

■ ファンド等の多様な資金調達手段の提供

西日本FHグループは、創業・新規事業支援、成長支援、事業承継支援、6次産業化支援、シーズ事業化支援、経営改善・事業再生支援等企業のライフステージに対応した各種ファンドに出資しており、金融機関の本業である貸出のほか、これらのファンドも活用しながら、地域企業の成長を金融面から支援しています。

【西日本シティ銀行が出資する各種ファンド〔注1〕の活用件数（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行
NCB九州6次化応援ファンド(件)	1
NCB九州活性化ファンド(件)	2
QB第一号ファンド(件)	9
合計(件)	12

- 〔注1〕各種ファンド
- ・NCB九州6次化応援ファンド
九州における1次産業者と2次・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンド。これまでの出資累計は、合計11件722百万円（2018年3月末）。地方銀行ではトップの実績。
 - ・NCB九州活性化ファンド
多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的としたファンド。
 - ・QB第一号ファンド
株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営する、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州地域活性化を目的としたファンド。

■ 地場企業の上場支援

西日本シティ銀行は、地域経済活性化・発展に寄与することを目的に、2017年11月、証券会員制法人 福岡証券取引所（以下「福証」）と、同年12月には、株式会社東京証券取引所（以下「東証」）と連携協定をそれぞれ締結しました。

西日本シティ銀行は、今後、福証・東証と相互に連携・協力することにより、創業から株式上場まで地域企業の成長ステージに応じた支援を進めてまいります。

なお、東証が、九州の地域金融機関とこのような連携協定を締結するのは、西日本シティ銀行が初めてです。

市場に関する連携基本協

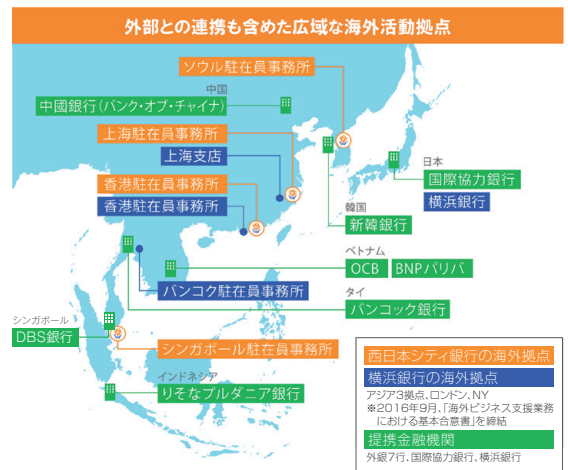


東京証券取引所との基本協定締結

■ より広域かつ深度ある国際ビジネス支援

西日本FHグループは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の提携先や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を超えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。

豊富な国際ビジネス支援態勢	
西日本シティ銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●国際部/国際ビジネス支援室 →専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる国際ビジネス支援 ●ワールド・ビジネス・スクエア (WBS) →外国送金、信用状取引といった外国為替取引を含め海外ビジネスをトータルにサポート ●NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約 →インターネットによる外国送金、輸入信用状の申込・照会などの幅広い外為取引
NCBリサーチ&コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ●国際コンサル室 →国際経験豊かなスタッフによる弁護士・保険会社等とも連携したきめ細かな海外進出支援 ●アジアビジネスセミナー →国際ビジネスに関する各種セミナーの開催
九州カード	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なクレジットカード →Visa、Mastercard、JCB、AMEX、銀聯、韓国ローカルカードを基軸としたフルブランド展開



● シンガポール駐在員事務所を開設・DBS銀行と「業務提携に関する覚書」を締結

西日本シティ銀行は、2017年3月、より広域かつ深度ある国際ビジネス支援を提供するため、アセアン地域における金融・流通ハブであるシンガポールに駐在員事務所を開設しました。

また、同年5月、東南アジア最大の銀行であるDBS銀行（本店：シンガポール）と「業務提携に関する覚書」を締結し、お客さまの国際ビジネスを支援する態勢を強化しています。



シンガポール駐在員事務所開設記念式典



DBS銀行との業務提携に関する調印式

● アリババ株式会社との業務提携

NCBリサーチ&コンサルティングは、2017年3月、アリババ株式会社と業務提携に関する契約を締結しました。

業務提携により、海外市場の開拓ニーズがある地元企業へ、インターネットを活用した海外販売チャネルの構築に関するコンサルティングや情報提供を行っています。

● 「中堅・中小建設業海外展開推進協議会（JASMOC）」への参加

西日本シティ銀行及びNCBリサーチ&コンサルティングは、2017年7月、中堅・中小建設業のお客さまの海外展開支援の一環として、国土交通省が設立した「中堅・中小建設業海外展開推進協議会（JASMOC）」に参加しました。

なお、九州の地方銀行においては、西日本シティ銀行が初めて支援機関として参加しています。

● 第10回「アジアセミナー」を開催

西日本シティ銀行とNCBリサーチ&コンサルティングは、2017年11月1日、第10回「アジアセミナー」を開催しました。

10回目となる今回は、アジア経済の動向や日本企業の事業機会の見通し等についての最新情報をお伝えしました。

第一部の基調講演では、公益財団法人国際金融情報センターの加藤隆俊顧問が「アジア経済の変遷と今後の展望」と題し、解説されました。第二部では、「アジアにおける九州企業のビジネス展開」と題し、中国・ASEAN地域でのビジネス展開に豊富な経験を持つ企業経営者2名による事例発表が行われました。

今後も、海外ビジネスのホットな情報を地元企業や地域の皆さまにお伝えしてまいります。



外国人の観光客の増加に伴う取組みとして、「自動外貨両替機」及び「海外発行カード対応ATM」を設置しています。

西日本シティ銀行では、昨今の福岡県内の外国人観光客の増加に伴い、自動外貨両替機を福岡県内に6か所、海外発行カード対応ATM〔注〕を3か所に設置しています。

〔注〕海外発行カード対応ATMは、海外で発行された「VISA」、「Mastercard」、「中国銀聯」、「台湾FISC」の4ブランドのキャッシュカードやクレジットカード、デビットカードのご利用ができます。



自動外貨両替機



海外発行カード対応ATM

低迷期・再生期のお客さまの支援

経営改善、事業再生等が必要なお客さまに対しては、中小企業金融円滑化法に基づき、外部機関とも連携しながら、経営再建計画策定支援や貸付条件の変更等の対応を行っています。

【貸付条件の変更の申込みを受けた貸付債権の数（2009年12月4日からの累積件数）】

西日本シティ銀行

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
中小企業者（件）	36,235	41,045	45,445
住宅ローン借入者（件）	2,751	2,998	3,141

長崎銀行

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
中小企業者（件）	2,324	2,599	2,801
住宅ローン借入者（件）	262	276	295

【経営改善支援取組み先のうち債務者区分がランクアップした先、経営改善計画を策定した先数（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
期初債務者数	40,672	2,797
経営改善支援取組み先（先） （経営改善支援等取組み率）	725 (1.8%)	106 (3.8%)
うち期末に債務者区分がランクアップした先（先） （ランクアップ率）	51 (7.0%)	4 (3.8%)
うち経営改善計画を策定した先〔注1〕（先） （再生計画策定率）	516 (71.2%)	92 (86.8%)

〔注〕「経営改善計画を策定した先」とは「実現可能性の高い抜本的な経営再建計画」を策定していることにより、その他要注意先としている先。

【貸付条件の変更を行っている中小企業のお客さまの経営改善計画の進捗状況〔注2〕（2018年3月期）】

	総数	好調先	順調先	不調先〔注3〕
西日本シティ銀行（先）	2,139	53	347	1,739
長崎銀行（先）	264	11	50	203

〔注2〕好調先：経営改善計画における売上高の進捗状況が120%超 順調先：同80%～120% 不調先：同80%未満

〔注3〕経営改善計画の策定のない先は不調先を含む⇒不調先の中には経営改善計画の策定に至っていない取引先も含まれます。

【中小企業再生支援協議会の利用先数（2018年3月期）】

	先数
西日本シティ銀行（先）	10

■ 事業承継・M&A分野のコンサルティング力強化

西日本シティ銀行（プライベートバンキング部、法人ソリューション部）及びNCBリサーチ&コンサルティング（事業コンサル部）では、西日本FHグループ全体のお客さまニーズを把握し、外部機関とも連携しながら円滑な事業承継・M&Aをお手伝いしています。

【西日本シティ銀行の事業承継・M&A支援先数（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行
事業承継支援先数（先）	242
M&A支援先数〔注〕（先）	19

〔注〕NCBリサーチ&コンサルティングによる支援先を含む。

事業性評価への取組み

西日本FHグループは、従来から地域金融の円滑化を図ることが社会的責任を果たすうえでもっとも重要な役割と捉え、中小企業のお客さまの経営支援の強化に積極的に対応しています。

事業の内容や成長可能性を適切に評価する「事業性評価」を実践することにより、経営課題の解決・事業価値の向上に積極的に取り組みます。

【お客さまの本業支援に関連する人材育成の状況（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行
資格取得者数〔注1〕（人）	1,712

〔注1〕 資格取得者数：事業性評価や本業支援等の取組みに資する資格

【事業性評価に基づく融資を行っている与信先数〔注2〕及び融資額（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
先数（先） （全融資先に占める割合）	3,726 (9.1%)	277 (10.0%)
融資残高（億円） （全融資先の融資残高に占める割合）	19,994 (39.8%)	201 (26.6%)

〔注2〕 2017年3月からの累計

【メイン取引先の状況（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
メイン取引先〔注3〕数（先）	17,713	1,498
メイン取引先の融資残高（億円）	27,159	440
メイン取引先のうち経営指標等〔注4〕が改善した先数（先）	14,224	867
メイン取引先のうち経営指標等が改善した先の融資残高（億円）	22,425	322

〔注3〕 メイン取引先：財務データの登録が2期以上ある取引先のうち、融資残高が最も大きい法人取引先

〔注4〕 経営指標等：売上高、営業利益率等

■ 動産・債権譲渡担保融資の取組み

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資として、動産・債権担保融資（ABL）〔注1〕にも取り組んでいます。さらに、グループ各社を含む民間の投資会社等が組成する企業再生ファンド〔注2〕への出資を通じ、再生に取り組むお客さまの支援を行っています。

〔注1〕 借り手の事業活動そのものに着目し、商品在庫、原材料、機械設備等の動産や売掛債権を担保に資金を貸し出す仕組み。

〔注2〕 過剰債務に陥った企業の立て直しを目的に、投資家から資金を集め、再生ビジネスに関するファンドのこと。

【動産・債権担保融資（ABL）の実績（2018年3月期）】

西日本シティ銀行

	動産・債権譲渡担保融資		
	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資	
融資残高・枠設定先数（先）	46	18	28
融資残高（億円）	95.3	3.3	91.9
融資枠設定額（億円）	153.5	3.5	150.0

長崎銀行

	動産・債権譲渡担保融資		
	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資	
融資残高・枠設定先数（先）	33	2	31
融資残高（億円）	12.1	0.3	11.7
融資枠設定額（億円）	0.4	0.4	0

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

西日本FHグループでは、お客さまと保証契約を締結する場合やお客さまから既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合、お客さまから保証債務の整理のお申し出があった場合には、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応するよう努めています。

【「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組状況（2018年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
新規に無保証で融資した件数（件）	7,028	274
新規融資件数（件）	31,096	1,323
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数（件）	1	1
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	22.6%	20.7%
保証契約を変更した件数（件）	2	2
保証契約を解除した件数（件）	626	20
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（件）	1	0
うち、メイン行としての成立件数（件）	0	0

【「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数、及び、全与信先に占める割合（2018年3月期）】

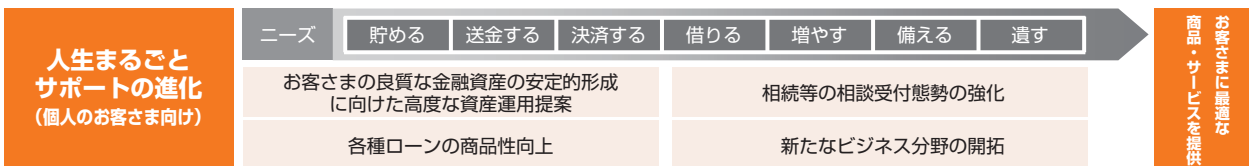
	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先数 ①（先）	41,033	2,764
ガイドライン活用先数 ②（先）	5,915	246
割合 ②／①	14.4%	8.9%

経営者保証に関するガイドライン

- ・「経営者保証に関するガイドライン」とは、経営者保証（中小企業の経営者などによる個人保証）において合理性が認められる保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うためのルールとして、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表したものです。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」には、中小企業等の経営者の皆様が金融機関と保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における自主的なルールが定められています。

人生まるごとサポートの進化

個人のお客さま向けには、ライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に「人生まるごとサポート」をコンセプトとして、最適なサービスの提供に努めています。



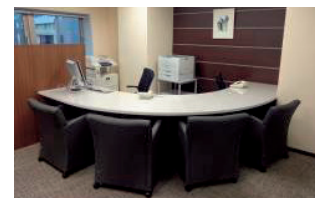
■資産運用・相続等受付態勢の充実

●プライベートバンキング部の新設

西日本シティ銀行は、2017年4月に、お客さまの相続・事業承継・資産運用等のニーズに対し、より専門性の高いサービスをご提供するため、「プライベートバンキング部」を新設しました。

●「NCB相続プラザ」・「NCBプレミアラウンジ」の開設

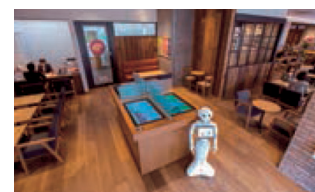
西日本シティ銀行は、知識・経験が豊富な“相続の専門スタッフ”が常駐し、相続に関する基本情報の提供から専門的なアドバイスまで、トータルサポートを行う相続コンサルティング専門拠点である「NCB相続プラザ」(NCB大名支店ビル4F)、「NCBプレミアラウンジ」(西日本FH北九州ビル4F)を開設しています。



NCB相続プラザ相談ブース

●「NCBアルファ六本松出張所(愛称: ワンクカフェ)」の開設

西日本シティ銀行は、「シアトルズベストコーヒー&サブウェイ」とコラボレーションし、ロボット「ペッパー」や「タブレットテーブル」等のICT技術を導入した新形態の店舗「ワンクカフェ」(九州大学六本松キャンパス跡地)に開設しています。相続をはじめ、お金に関するさまざまなご相談におこたえしています。



カフェと併設するレイアウト

●フィデューシャリー・デューティーを踏まえた資産運用提案

西日本FHグループ(西日本FH・西日本シティ銀行・長崎銀行・西日本シティTT証券)は、2017年6月に「お客さまの資産運用及び資産形成に関わる業務の基本方針(フィデューシャリー・デューティーに関する基本方針)」を策定し、公表しました。

お客さまの資産運用及び資産形成に関わる業務において、お客さまの良質な金融資産の安定的形成に資する最良の金融商品ラインナップ・ICTを活用したわかりやすい商品提案・お客さま本位の営業態勢の浸透・定着など「お客さま本位の業務運営態勢の構築」に努めています。

〔取組事例〕：西日本シティTT証券 春日サテライトブースの開設(2017年7月営業開始)

西日本シティ銀行 春日支店のリニューアルオープンに合わせ、西日本シティTT証券の無人相談ブースを設置しました。

大型のテレビ電話システムを利用し、お客さまの多様化・高度化する資産運用等のご相談に専門スタッフが対応しています。



〔取組事例〕：投資信託ファンドセレクション大会の開催(2017年11月9日)

西日本シティ銀行では、新たに取り扱うファンドを、お客さまの投票によって決定する「投資信託ファンドセレクション大会」を開催しました。商品の採用プロセスにお客さまの目線を取り入れることが、「お客さまにとって最適な商品・サービスの提供につながるのではないか」との考えから開催に至ったものです。大会の結果を踏まえ、4ファンドの採用を決定し、順次取扱いを開始しています。

投資信託ファンドセレクション大会 投票結果

- 1位 グローバルAIファンド(得票率78.2%)
- 2位 MHAM 新興成長株オープン(Jフロンティア)(得票率66.3%)
- 3位 先進国資本エマージング株式ファンド(リードストック)(得票率40.5%)
- 3位 メキシコ債券オープン(アミーゴ)(得票率40.5%)

〔取組事例〕：「iDeCo」、「つみたてNISA」の提案強化

お客さまの良質な資産の安定的形成に資するとの考えから、「iDeCo」、「つみたてNISA」のプロモーションに積極的に取り組んでいます。

西日本シティ銀行では、ライフプランニングを担う行員が相談員バッチを着用し、お客さまのご相談に対応しています。

2017年10月から、長崎銀行でも西日本シティ銀行のiDeCoプラン「恋するiDeCo」の取扱いを開始しました。



〔取組事例〕：各種セミナーの開催

2017年6月、西日本シティ銀行、長崎銀行、西日本シティTT証券は、日本・世界経済の動向等を分かり易くお伝えする「マーケットセミナー」を開催しました。

この他にも、地元企業の従業員の皆様を対象とした「つみたてセミナー」を随時開催し、積立型商品を利用した資産形成をサポートしています。



■ ローンの商品性向上・ローンご返済窓口を設置

● Webで申込可能なローン商品の拡充

西日本シティ銀行は、「ローン契約のために来店する時間が取れない」などのお客さまからいただいたご意見におこたえするため、2017年9月、Web上でご契約が完了する商品を7商品に拡充しました。

これまで「電話」「FAX」「ATM」からお申込みいただいたお客さまには、ご契約の手続きの際にご来店いただいていたりましたが、Web上でも契約手続きができるようになりました。なお、土・日曜日でもご契約手続きができる「ローン営業室」もございます。



● ローンご返済窓口の設置

西日本シティ銀行は、ローンのご返済にお困りのお客さまへのご相談窓口「ローンご返済相談窓口」を設置しています。

ローンのご返済に
お困りの皆さまへの
相談窓口

ローンご返済相談窓口

☎0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日及び銀行休業日は除きます)

ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み

西日本FHグループは、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指し、地域金融機関ならではのESGの取組みを推進しています。

Environment

■ 環境美化への取組み

● 「一人一花」運動の全店での展開

西日本シティ銀行は、福岡市が展開する「一人一花」運動*に賛同し、店舗の花壇などに花や緑を育て、彩りや潤いにあふれたおもてなしを全店で展開しています。

※「一人一花」運動とは：市民・行政・一人ひとりが花と緑を育て、公園や歩道、会社、自宅など福岡市のあらゆる場所を花と緑でいっぱいにする取組みです。（福岡市HPより）



各店舗での取組事例

● 環境配慮型店舗への建替え

2017年度は太陽光発電・雨水再利用・エコガラス・LED照明・省エネ空調等のエコ設備を備えた“環境配慮型店舗”に7か店建替えを実施しました。



西日本FH北九州ビル
(2017年11月オープン)

● 清掃活動

西日本FHグループでは、地域の環境美化を目的に、清掃ボランティア活動「地域のクリーンデー」を行っています。

2017年10月、西日本FHグループ各社の職員が、地域の皆さまと一緒にJR博多駅周辺を清掃しました。また、西日本シティ銀行・長崎銀行の各店舗では、店舗の周辺や商店街などを清掃し、美しい環境づくりのお手伝いをしました。



JR博多駅周辺の清掃

● 環境保全寄付活動

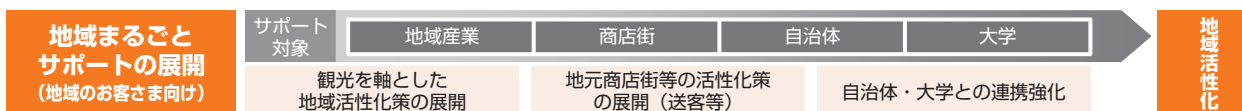
長崎銀行は、環境保全活動に貢献する取組みとして、お預け入れ残高に応じて「緑の基金（公益財団法人長崎県緑化推進協会）」に寄付を行う機能がついた「ながさきエコ定期預金」を取り扱っています。2017年7月に贈呈式が開催され、313,075円を寄付しました。寄付金は、長崎県内の森林整備に活用されます。



贈呈式の様子

Social

西日本FHグループは、地方自治体や大学等と連携し、地方創生や地域の面的再生への積極的な取組みを行う「地域まるごとサポート」を展開することにより、地域経済の活性化、地域との共栄、地域社会づくりに貢献しています。



■ 地方公共団体等との連携

地方公共団体との間で、「地方創生に関する包括協定」を締結し、密接な連携を図っています。
(締結順)

	自治体名	締結日		自治体名	締結日		自治体名	締結日
①	福津市	2015年6月15日	⑥	みやこ町	2015年12月24日	⑪	田川市	2016年10月27日
②	須恵町	2015年8月6日	⑦	久留米市	2016年2月12日	⑫	唐津市	2016年10月28日
③	中間市	2015年12月18日	⑧	日田市	2016年2月12日	⑬	鳥栖市	2016年11月21日
④	福智町	2015年12月21日	⑨	糸田町	2016年2月24日			
⑤	福岡県	2015年12月22日	⑩	那珂川町	2016年3月10日			

● 北九州市・Sansan株式会社との三者間協定の締結

西日本シティ銀行は、2017年4月、北九州市内に事業所を持つ企業の生産性向上と、市内在住の障がい者就労支援を目的に、北九州市及びSansan株式会社との間で三者間協定を締結しました。



三者間協定の締結

● 宗像市及び宗像市商工会との締結

西日本シティ銀行は、地方創生にかかる戦略を推進するため、2017年5月、宗像市及び宗像市商工会と連携し、「宗像応援ファンドに係る連携及び協力に関する基本協定」を締結しました。また、同年8月には、宗像市と「宗像市空家等対策推進連携協定」を締結しました。



宗像応援ファンドの締結

● 糸島市・国立大学法人九州大学・セトル株式会社との締結

西日本シティ銀行は、2017年5月、糸島市・国立大学法人九州大学・セトル株式会社と連携し、九州大学伊都キャンパス周辺地域の国際化や地域振興にとともに取り組むことを目的として、「地域の国際化に関する協定」を締結しました。

● 柳川市との締結

西日本シティ銀行は、2017年10月、柳川市の地方創生にかかる戦略を支援するため、同市と「移住定住連携協力に関する協定」を締結しました。



「移住定住連携協力に関する協定」の締結

● 別府市との締結

西日本シティ銀行は、2017年12月、別府市の観光振興を軸とした地域活性化を促進するため、同市と「観光振興連携協力に関する協定」を締結しました。



「観光振興連携協力に関する協定」の締結

● 久留米工業大学との締結

西日本シティ銀行は、2018年2月、久留米工業大学と産学連携協力を促進し、相互の発展に資するとともに、地域の発展と大学の教育・研究をはじめとする学術の振興に寄与するため、同大学と「産学連携協力に関する協定」を締結しました。



「産学連携協力に関する協定」の締結

● 福岡労働局との締結

西日本シティ銀行は、2018年3月、福岡労働局と密接に連携・協力して福岡県内の働き方改革や地域振興等を推進していくため、同局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結しました。



「働き方改革に係る包括連携に関する協定」の締結

■ 寄付型私募債の取扱い

● 地域応援私募債「つなぐココロ」の取扱い

西日本シティ銀行は、2017年2月より、九州地域の未来を担う子どもたちの学びや成長を支援するため、西日本シティ銀行が寄付金を拠出し、地域の学校などへ図書やスポーツ用品等の物品を寄贈する機能がついた、地域応援私募債「つなぐココロ」の取扱いを開始しました。2018年6月末までに、44.7億円/43社の「つなぐココロ」を引き受けしています。



株式会社シノケンハーモニーから福岡市内の特別支援学校8校へiPadを寄贈

● 世界遺産保存応援募債「悠久への扉」の取扱い

西日本シティ銀行は、2017年9月から2018年3月まで、世界遺産として正式登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の保全・保存活動を支援するため、西日本シティ銀行が寄付金を拠出し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会（以下、「協議会」）へ支援金として寄付する機能がついた、世界遺産保存応援募債「悠久への扉」の取扱いを行いました。

2018年5月、「悠久への扉」の合同贈呈式を宗像大社で開催し、発行企業5社が協議会へ寄付金を贈呈しました。



合同贈呈式の様子

■ 地域社会への知的貢献

● 第11回「久保田勇夫 新春経済講演会」の開催

最新の経済情報を、企業経営や景気の見通しの参考にさせていただくため、2008年より毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催しています。

2018年1月の講演会では、「2018年経済・金融の見通し～世界・日本・そして九州～」をテーマに久保田会長がアメリカのトランプ大統領の政策や日本の貿易政策、九州経済の見通しなどについて講演しました。



久保田会長



新春経済講演会の様子

● 春休み期間中の「金融リテラシー教育」への取組み

西日本シティ銀行は、春休み期間中の2018年3月31日、4月1日の2日間、福岡市科学館で開催された「ワークショップコレクションin福岡2018」*1に参画しました。会場では「金融リテラシー教育」*2への取組みとして、「お金のがっこう」などさまざまなイベントを開催しました。



※1「ワークショップコレクション」：東京・仙台・大阪など全国各地で開催されている子どもたちの学びにつながるワークショップ博覧会。福岡では2日間で24,000人が来場。
 ※2「金融リテラシー教育」：金融や経済に関する知識や判断力を身につける教育。

■ 歴史・文化活動への取組み

● 「NCB音楽祭2017～歓喜と喝采～」の開催

2017年12月2日、「NCB音楽祭2017～歓喜と喝采～」をアクロス福岡で開催しました。この音楽祭は、音楽を通じて年末の福博の街に活力を届けようと、総監督に広渡勲氏、指揮者に井崎正浩氏を迎え、九州交響楽団など地元ゆかりの音楽家の方々にご協力いただき、開催しているものです。

当日は、西日本FHグループの社員と市民で結成された「NCBフロイデ合唱団」による第九・歓喜の歌の合唱や、ボレロやオペラの曲目でバラエティに富んだ舞台が繰り広げられ、約1,500名の鑑賞者により会場は終始喝采の渦に包まれました。



「NCB音楽祭2017～歓喜と喝采～」の様子

● 「博多に強くなるうシリーズ」・「北九州に強くなるうシリーズ」通巻100号の発行

西日本シティ銀行は、地域貢献活動の一環として「博多に強くなるうシリーズ」・「北九州に強くなるうシリーズ」を発行しています。この冊子は、「歴史・文化活動として、地元ゆかりの人物や身近な話題を取り上げ、わかりやすく紹介する」をコンセプトに、1979年（昭和54年）より発行*を開始し、2018年7月に通巻100号を発行しました。※「北九州に強くなるうシリーズ」は、1992年（平成4年）より発行

記念となる100号では、黒田長政を支えたのち、『大坂の陣』で活躍した智勇の豪将「後藤又兵衛」の波瀾の生涯をテーマに、西日本シティ銀行の谷川頭取が「後藤又兵衛～大坂の陣で散った戦国武将～」を著された九州大学人文社会科学部門教授の福田 千鶴氏からお話を伺い編集構成しています。



西日本シティ銀行の店舗に設置しているほか、ホームページでもご覧いただけます。

■ 地域行事への参加

● 「長崎ランタンフェスティバル」への参加

2018年2月16日～3月4日の間、長崎市で「長崎ランタンフェスティバル」が開催されました。

2月17日にメインイベントのひとつである「皇帝パレード」が開催され、西日本シティ銀行長崎支店と長崎銀行の行員が合同で参加しました。



長崎ランタンフェスティバルに参加

● 「博多どんたく港まつり」への参加

西日本シティ銀行は、2018年5月3日と4日に開催された福岡市民の祭り「第57回博多どんたく港まつり」に参加しました。

今年は天候にも恵まれ、「はかた駅前どんたくストリート」パレードに加えて3年ぶりに「明治通り」パレードも実施されました。西日本シティ銀行の役職員のほか、CM等でもおなじみの若田部遙さんにも参加いただきました。

本店前の演舞台では、谷川頭取による主催者挨拶の後、久保田会長が「ふくはく文化塾」のメンバーとして博多にわかを披露しました。そのほかにも、さまざまなパフォーマンスにより、博多どんたくを盛り上げました。



どんたくパレード隊



若田部遙さんもパレードに参加

■ 地域経済の発展に貢献、国際交流に貢献している団体・個人への表彰

● 地域経済の発展に貢献した経営者への表彰

<経営者賞（公益財団法人 経営者顕彰財団）>

経営者顕彰財団は、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年表彰しています。

2018年4月26日に、第45回経営者賞の表彰式を開催しました。1973年の開始以来、受賞者は165名にのぼり、受賞者の中には、その後、上場企業に成長された企業の経営者も多く、経営者賞の受賞は地元企業の経営者の大きな励みとなっています。



経営者賞受賞の皆さま

第45回「経営者賞」受賞者

氏名	岩田 陽男 氏	二又 茂明 氏	山口 毅 氏
企業名 役職	株式会社岩田産業グループホールディングス 代表取締役会長兼社長 岩田産業株式会社 代表取締役会長	久留米運送株式会社 代表取締役社長	株式会社山口油屋福太郎 代表取締役社長
所在地	福岡県福岡市博多区諸岡	福岡県久留米市東櫛原町	福岡市南区五十川
事業内容	外食産業専門総合食品商社	貨物自動車運送業、貨物利用運送業、倉庫業、産廃収集運搬業、損害保険代理業	業務用食品材料卸売業、明太子卸売小売業、飲食業、温浴施設運営

※ 過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、西日本シティ銀行のホームページの「西日本シティ銀行について>地域社会貢献活動>公益財団法人 経営者顕彰財団」からご覧いただけます。

● アジアとの国際交流に貢献している団体及び個人への表彰

<「アジア貢献賞・アジアKids大賞」（公益財団法人 西日本国際財団）>

西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を毎年表彰しています。

併せて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際親善に貢献している小・中学校、子ども団体等の表彰を行っています。2018年3月7日に、第19回アジア貢献賞・第13回アジアKids大賞の授賞式を開催しました。

第19回 アジア貢献賞受賞者

団体・受賞者	RK清水(長崎)財団 会長 清水 勝利氏	木城えほんの郷 みどりのゆり かご協会 村長 黒木 郁朝氏	NPO法人 ヒーリングファミリ ー財団 理事長 大垣内 勇氏
活動地域	フィリピン、長崎県	宮崎県児湯郡木城町	タイ・チェンマイ、佐賀県多久市
活動分野	教育支援、学校建設	教育支援、異文化理解	国際協力、交流活動
活動内容	フィリピンでの小学校建設や教育物資の寄贈による教育支援。	子どもの感性を育む絵本絵画などを通じて韓国、中国、インドなどアジアを中心に交流。	車いすの寄贈や介護技術の伝達により、タイの障がい者を支援。



アジア貢献賞受賞の皆さま

第13回 アジアKids大賞受賞者

団体・受賞者	ありあけ国際交流協会「ヤングチャレンジ」 代表 児玉 伊左夫氏	日韓親善子供大使友好の翼 実行委員会 実行委員長 山口 紀史氏
活動地域	フィリピン、アメリカ、熊本県荒尾市	韓国・釜山広域市、鹿児島県霧島市
活動内容	有明高専のアジア留学生との交流。フィリピンのゴミ山で暮らす子どもたちに関する講話やフィリピンの小学校に物資を送る支援。	25年にわたる日韓の相互ホームステイ活動と友好親善。国際感覚あふれる青少年の健全育成。



アジアKids大賞受賞の皆さま

※ 過去の受賞者等、アジア貢献賞・アジアKids大賞等の詳細は、西日本シティ銀行のホームページの「西日本シティ銀行について>地域社会貢献活動>公益財団法人 西日本国際財団」からご覧いただけます。

■ TV番組の提供

西日本シティ銀行は、地元TV局と共同でTV番組を制作し、地域の歴史・文化や地元企業の“元氣”を地域の皆さまに紹介しています。

2018年4月からは、新番組「まちが★スキー」をスタートさせました。



まちが★スキー

毎週土曜日9:25より
FBS福岡放送にて放映中です。

「地域の元気を応援する」をコンセプトにひと・まち・しごとにスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています



温故知新「発見!九州スピリット」

毎週土曜日23:10より
KBC九州朝日放送にて放映中です。

進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。



志・情熱企業

毎週土曜日18:50より
RKB毎日放送にて放映中です。

地元企業の中で、特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています。

Governance

■ グループ経営管理のPDCAサイクル

西日本FH（持株会社）が経営管理に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図っています。

■ 監査等委員会設置会社の採用

ガバナンスの強化及び迅速かつ効率的な意思決定体制を構築しています。また、社外取締役を過半数配置することで、監査・監督機能の実効性を確保しています。





西日本フィナンシャルホールディングス